

男二極化・格差社会の真相

藤貴男



◇さいとう・たかお 1958年生まれ。早大卒。イギリス・バ
ーミンガム大学で修士号(国際学M.A.)取得。日本工業新聞、ブ
レシデント、週刊文春の記者などを経てフリーに。「戦争経済大
国」(河出書房新社)、「日本が壊れていく」(ちくま新書)、
「明治礼賛」の正体」(岩波ブックレット)など著書多数。

沖縄県知事選で玉城デニー氏が当選して、本当によかった。彼の政治姿勢に筆者が共感しているから、ばかりではない。この国の社会で生きる

された投稿20万件以上(リットイト含む)を調査したところ、全体の9割が玉城氏に関する内容だった。デマの多くは、与党の国会

士らの指摘で、県選管が各市町村選管に写真撮影をさせないよう通知する一幕もあった。

トの山岡俊介氏と寺澤有氏が完璧な裏を取って詳細を公表。国会で自由党の山本太郎氏が追及もした。だが軽減税率と東京五輪スポンサー契約

あらゆる人々にとって、最善の選択だったといえる。

沖縄県知事選の結果に一筋の光明

のEサで政府と一体化した大手マスコミは、なお見て見ぬふりのまま。私たちがつ

それほどまでに玉城氏に対する誹謗中傷は酷かった。大麻だの隠し子だの中国のスパイだのといった大嘘の数々が、選挙期間中を通してSNSで全世界にバラまかれた。

議員やアベ政権のいわゆる御用文化人らによっても拡散された。陰惨なバッシングは選挙後も続き、玉城氏の殺害予告まで相次いでいるという。

は、かつて1999年の下関市長選で子飼いの候補者を当選させるため、対立候補への選挙妨害を暴力団に依頼し、実行させた。だが約束通りの報酬を支払わず、アベ氏の自宅に火炎瓶を投げ込まれてしま

見ぬふりのまま。私たちがつくづく不幸だ。だからこそ余計に、玉城氏の勝利が喜ばしい。正気を忘れていない沖縄の有権者たちのおかげで、最悪の時代にも一筋の光明が見えてきた。チンピラ政権は今後もどんな汚

与党の全面支援を受けた対抗馬の佐喜真淳氏も、一定の被害は受けたらしい。ただ、「琉球新報」が9月9日から

前回事業の倍以上にも増えた期日前投票では、いつ、何人が、どの投票所等々の報告を求める調査票が、建設業界の団体などに配布されたと

日に至った。

暴力団にも劣るチンピラ集団に最高権力を与えてしまっている私たち日本国民は異常に過ぎる。政治学者の白井聡氏はしばしば「アベ政権を組織的犯罪集団のレベル」と形容しているが、同感である。事件は最近、ジャーナリスト

支えよう。(隔週火曜掲載)